



感染対策勉強会を開催しました。

2月10日に呉市医師会感染管理認定看護師の森光 毅氏を講師に迎えワクチンについての勉強会を行いました。ワクチンは個人と社会を守る2つの役割があり接種することにより感染症の発症、あるいは重症化を予防できるということ、そしてより多くの方が予防接種を受けることで流行を防ぎ、それによりワクチンを接種できない人を守るということも繋がるということを学びました。まず、身近なワクチンではインフルエンザの予防接種があります。インフルエンザは接種後2週間～1ヶ月程度で効果が現れ5ヶ月程度効果は持続すること、高齢者ではワクチン接種によりインフルエンザの発症リスクを40%減少、死亡リスクを80%減少させる効果があるということも学びました。当院では高齢の方が多くおられますので、勉強会で学んだことを理解し発信していくことで、より徹底した感染予防に繋がっていきたいと思います。

新館看護部 梶山 美和



広島県病院学会で発表を行いました。

2月16日に開催された第45回広島県病院学会において、「紙カルテをサポートする病院ICTシステムの可能性」と題して、当院の安田看護副師長が発表を行いました。今回は当院で独自に開発を行い業務に使用しているICTシステムについて発表しました。ICTとは日本語で情報通信技術と訳されます。つまり、人同士のコミュニケーションが関わるコンピュータの使い方やコミュニケーションの活用法を指します。病院ICTシステムは専門業者による製品化もなされていますが、価格面で導入する事が困難な場合も多く、当院では専門知識を有する職員により自社開発を進め利用しています。将来的には電子カルテ等統合を含めた総合システムとして稼働することを目標として開発を行っています。また、ICTシステムの利用により、業務の簡素化、地域医療機関との情報共有、遠隔で行う診療、介護環境の整備など、入院患者様及び外来患者様に対してより質の高い医療を提供できるよう、また地域医療に貢献できるシステムを構築していきたいと考えております。



「修二会」

修二会（しゅにえ）は正式には修二月会（しゅにがつえ）といい、旧年の穢れを祓う「懺悔（さんげ）」と、来るべき新年の国家の平安や豊穡を祈る「悔過（けか）」の法要行事です。奈良薬師寺の「花会式（はなえしき）」長谷寺の「だだおし」などが知られていますが、やはり全国的に有名なのは東大寺の「お水取り」はではないでしょうか。正式には十一面悔過法（じゅういちめんげかほう）と呼ばれ、東大寺二月堂の御本尊である十一面観音にお供えする水を汲むことから通称「お水取り」と呼ばれています。二月中旬から「別火」という前行が始まり、選ばれた十一人の僧侶が、火打石で起こした特別な火を使い、他の僧侶とは別棟で法要を行います。三月一日からは日に六回行われることから、「六時」と呼ばれる本行が二月堂で行なわれ、毎夜十九時頃、二月堂の舞台で僧侶一人一人が入堂するための明かりとして松明の点灯があります。これはお水取りで一番荘厳な行事なのでニュースや写真でご覧になった方も多いのではないのでしょうか。十三日には、いよいよクライマックスのお水取りが行われ、深夜二月堂を出た僧侶たちが関伽井屋（あかいや）という最も神聖な建物の中にある若狭井と呼ばれる井戸から水を汲み御本尊十一面観音にお供えします。なお、汲まれる水は、若狭の若狭神宮寺、遠敷明神から十日かけて東大寺まで送られるとされ、若狭神宮寺ではお水取りの十日前となる三月二日に「お水送り」が行われます。関西では「お水取り」が終われば春は来ぬ」と言われ、この行事が終わるといよいよ春の訪れを感じさせる気候となります。



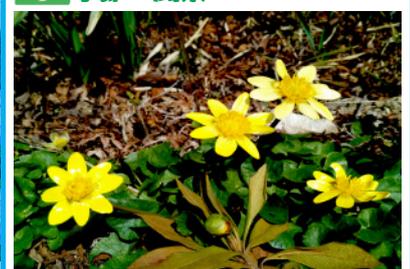
診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：宮里	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：細川・森本 (腎臓内科)	土曜日	午後：石橋(脳神経内科)	午前：内科(交代制)

季節の風景



春はもうすぐ